

J-SOL THREE アンケート報告書

開催日 2010年6月26-27日

目 次

I. アンケート概要	2
II. アンケートの結果	3

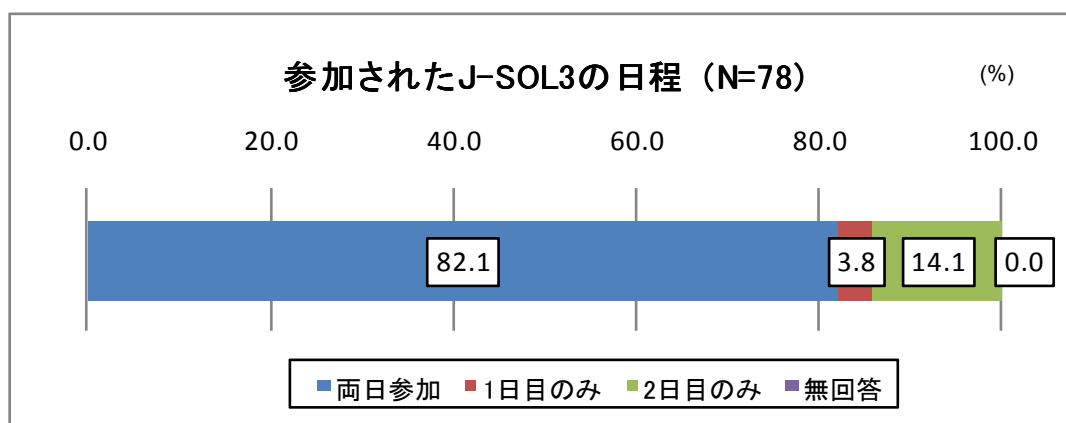
I. アンケート概要

- 対象: J-SOL3参加者でアンケートを書いてくださった方
- 実施日: 2010年6月26-27日
- 実施方法: 配布資料にアンケート用紙を綴じ込み
終了後出口で回収
- 有効回答数: 78名

2

II. アンケートの結果

- Q1) 参加されたJ-SOL3の日程
アンケートに回答して下さった方の82%は、両日参加の方でした。

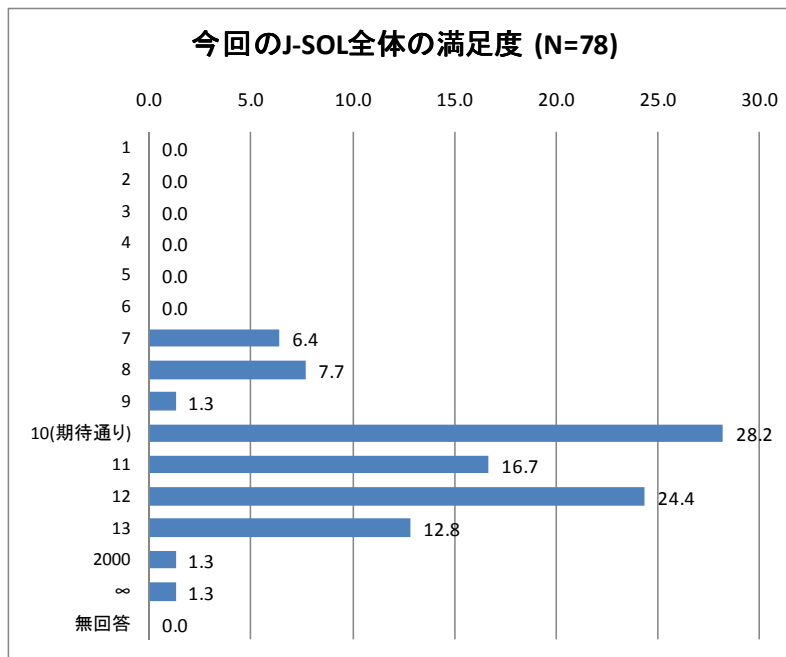


3

II. アンケートの結果

Q2) 今回のJ-SOL全体の満足度

基本統計量は13以上に該当するものを13として算出しました。
山が3つあります。



N	78
平均	10.8
最大値	13.0
中央値	11.0
最小値	7.0

4

II. アンケートの結果

Q3) 良かったこと その1

笑顔であふれた方々と出会えたこと
 ・SFのことがまた少しわかったように思う。
 ・多くの人と知り合え。話ができなこと
 SFの心が腹におちた。問題志向は最高でも問題解消だが、解決志向はどんどん広がりが上がっていきける。
 サイモンリー氏の5つ質問。日本人は特に感性が強いのでSOLは合っているとします。
 ・ボンタさんと山根さんのすばらしい司会。司会のお話をきいているだけでわくわくしました。もりあげてくださってありがとうございます。
 ・青木さんの聴きやすい声と通訳。本当にありがとうございます。
 ・OKカードとホルダー
 明日からの研修に使える
 マイケル・ヤート、マーク・マカーゴウ
 どのワークも良かったです。運営もスムーズで、気持ちよく参加できました。
 ・事例発表会にて、参加者の方々と情報共有できたこと。
 ・基調講演で学ぶことが多かったこと。
 100人以上の人が集まってSFを共有したこと
 たくさんのおみなさんの笑顔を見た
 出合いが広がりました
 皆さんの活躍が具体的に知ることができた。マカーゴウ博士の話が聴けたこと。初心に戻って相手を尊重するということを再確認した。
 ①マイケル・ヤート氏の”初心””The PLUS modelの説明”
 ②マーク・マカーゴウ氏の”失敗しましょう”
 ③青木安輝氏の”表レジュメ表紙の問いかけ”
 たくさん事例が聞けた。
 素敵な出合いがあった。
 ZACROSの発表
 色々な人との出合い
 自分の強み、スケーリングのSFの見方を体験できた。
 ポジティブ比率で、ネガティブなことも、重要なことに、気づいたこと。(うまくいっているチームでもヒント)

ZACROSさんの分科会。ツールがいなくなった話。
 人は昔からSF的であること。
 色々な方に会えた事
 良い話を共有できたこと。
 人とのコミュニケーション
 ダニエル君の話
 SFをその場で使える雰囲気。暖かい空気が良かったです。本当に「学習」ではなく実践だと感じました。
 島さんのワークショップ
 ・沢山の気づき(書ききれません)
 ・沢山の経験(書ききれません)
 具体例をいくつか持ち帰りました。
 ・来ると元気になれます!
 ・日常で使える具体的な事例
 SFを使った資料が作れそう。
 ザクロスというすごいメーカーに知り合えた。
 メンタルタフネスの分科会に参加したら思わぬ発見があった。(メンタルとは関係ないところで自分の仕事に活かせるヒントが見つかった)
 参加者も発表者もみなすばらしかった。内容もですが、人がすばらしい。
 多くの司会が良かった
 ソリューションフォーカスは、自然に好奇心の向くまま、できるところから。
 迷っている方に対するアドバイスのしかた。視点がわかって良かった。
 SFのベースにある「自然にシンプルに」と「初心を忘れず、尊敬すること」を聞いたこと。
 J-SOL1から参加していますが、毎回進化していることがスゴイと思います。事例自体がとても進化していて、自然体できてしまっているのが驚きです。

5

II. アンケートの結果

Q3) 良かったこと その2

気づきがたくさんもらえた。パワー、言葉の大切さ、相互作用…
最近、私に起こっている良いこととSF今回の大会がつながっていたとわかったこと。
全て
今までやってきたことの中でSFチックなことがあったことを思い出せた。OKメッセージは相手の存在を知っている、見ているフリではできない。認めてあげること分かった。
・ポジティブな視点を大事にする多くの人に出逢えたこと。
・仕事ややりたいことに生かせるアイデアをいっぱい得ることができたこと。
解決に向き
・マークさんの特別講演 SFで可能になる世界 (Respect)
・仲間との出会い
色々な人の話を聞いた事
ポジティブ志向とSFの違いがわかった。
明日への活力(ワクワク)が皆さんからもらえた。”SFは習うものではなく、育てるもの”という風に視点が変わった。
元気になった
やりたい事がちよっとはきりした。とにかくみなさんと笑顔で話せてよかった。
・分科会 I -D, II -A, III -D
・基調講演、マークさん講演
・スタッフの対応
・参加前よりも、前向きで元気になった。
・OKメッセージがたくさんで良かった。
・「初心」と「尊敬」。普段大切に思っていることだが、それがリフレインされた。
・たくさんの笑顔と安堵の表情
・スタッフのホスピタリティ
・サイモン・リーさんの5Q's
・SFカフェ

発表に対して素晴らしいフレクティングをたくさんいただきました。
グループ対話
今まで学んだことを再認識できた。
SFの未来が明確になったこと、”それでいいのだ”、いろんな人に出会えたこと、「明珠掌に在り」の実践を思い出しました。
視点が変わった。
・おもしろい話を聞いた。
・会議の進め方がわかった気がする。
楽しかったです。
SFが日本人に根付く善の気持ちに沿っているのではと気付いたこと。エモーショナルな日本だからそのSFスタイルを確立し世界に発信したいと思う。
いろいろと人に出会うこともでき、調べることも見つかった。
たくさんの出会いがあった！
たくさんの人の話を伺えたこと。
SFの活用の仕方に見方が変わった。
前向きな気持ちになれた。前向きな気持ちになれる方法を共有できた。
社内コミュニケーション、お客様とのコミュニケーションの良い取り方がわかった。
体験できる時間が多かったこと。鼻と鼻のコミュニケーションがよかった。確かに話すといろいろアイデアがうまれてくる。
初めての方もSFを楽しみ理解し、元気づけられ、笑顔でエネルギーギッシュになっています。そして、年齢を重ねている人も、若くて夢を持っているということによりモチベーションがあがりました。
分科会で具体的事例を知ることができたこと。
みなさんの笑顔
大会中つねに、明るい、やる気にみちた雰囲気があり、良い影響をうけた。
いろいろな人々に出会い、対話できたこと。明るい思考が広がったこと。
全部…ですが、マイケルヤート氏の講演「既にあって育てていくもの」が納得しました。頭も胸もいっぱいです。
自分の中に既にSFの種はある(それもかなり)と感じられた。

6

II. アンケートの結果

Q4) 印象に残ったプログラム

カフェ、基調講演、スモールサクセス共有タイム、分科会 など

スモールサクセス共有タイム ・分科会 メンタルタフネス ・ヤート氏の講演 ・マカーゴウ氏の講演 どれもよいプログラムでした。 ZACROSS夢の会 サイモン・リー氏の5つ質問。 全部！！ スモールサクセスセッション サイモン・リー ワークショップ 基調講演、SFフューチャーCafé マイケル・ヤート氏の基調講演 スモールサクセス1対1 ワークショップが良かったです。※今村さんのが聞けず残念でした。 サイモン・リーさん 5つの質問 張氏(II-A)理念づくり、理念と行動の一致。 高崎氏(III-E)教室運営とラーニングの補完。 SFフューチャーCafé メンタルタフネス。ソリューションカフェ。 最後のカフェ サイモン・リーさん ゲームで体験SF サイモンさんの分科会 スモールサクセス、(意外に)盛り上がった、勉強になりました。 マイケル・ヤート講演 張さん、大西さんの分科会 スモールサクセス共有タイム 分科会 III-D吉田さん SFフューチャーカフェ SF-WAYが組織に浸透する時(分科会II)	スモールサクセス ・SF応用場面別スモールサクセス共有タイム 一人人に使える話があったのが、とてもうれしかったです！！ 分科会 ザクロス事例発表 分科会 I -B、分科会 III -A マイケル・ヤートさん 共有大会はなかなか良かった 藤森工業さん。 事例報告は、現場での実践向きで良かった。 「マイケル・ヤート」さんのナチュラルにシンプル。 張さんの「SF-Wayが組織に浸透する時」「ワールドカフェ」 戸部さん、青木さん、山根さんの共有タイム スモールサクセス共有タイム、最後のカフェ、分科会 SF-WAY 分科会 II メンタルタフネス、すてきな未来の物語、マイケル・ヤート氏の基調講演 分科会、ワーク SFフューチャーCafé、ZACROSS SFフューチャーCafé 分科会 II -A ポジティブ心理学を職場に活かす。 “ZACROSS”の話が本当によかった！SF insideの素晴らしさを感じる事が出来た。基調講演も、SFフューチャーCaféも楽しかった。 ヤート氏講演、スモールサクセス(チーム組織)、上西さんマネージャー育成、サイモン氏部下が前向きになる5つの質問 すべて 上記に同じ (・分科会 I -D, II -A, III -D ・基調講演、マークさん講演 ・スタッフの対応) 分科会 I -A, SFフューチャーカフェ ヤートさんの基調講演、分科会 I -A、小野さんのSF小道具、分科会 II、分科会 III -E, SFフューチャーカフェ、マークさんの講演	ALSO (・サイモン・リーさんの5Q's ・SFカフェ) マーク・マカーゴウ博士 Café マイケル・ヤート、基調講演 基調講演、ナチュラルにシンプル、分科会、部下が前向きになる5つの質問、特別講演、SFで可能になる世界とは 全て(初めてのため) SFフューチャーCafé シェアタイム 張琴さんと大西さんの分科会 島田さん。今年のNo.1 分科会(ザクロス) マイケル・ヤートさんの話。 小島さん ミッションダイナミックチームづくり。 ZACROSS 全て 「チーム・組織におけるSF活用」みんなの共有がとてもよかった。私たちはすでにやっているんだということを実感できました。「サイモン・リー」さんの分科会よかった。 マイケル・ヤートさんの基調講演、とても解説がよく納得しました。 分科会 II -A 張先生、大西先生のお話 伊藤さんのJA組織改善コンサルティング事例 スモールサクセス、マネージャー育成「ケース上西氏」、SF-Wayが組織に浸透する時、SF Café サイモン・リーさんの分科会、マイケル・ヤート氏の講演。 全て…強いというなら、マイケル・ヤート氏のプログラム
--	--	---

7

II. アンケートの結果

Q5) 今日手に入れた成果はどんなことに役立ちそうか その1(左:個人 右:組織)

初心に戻って他者を尊敬し受け入れること	(ソリューションフォーカスの本をもう一度読み直して実践できることをやってみようと思う。OKメッセージを人にも自分にも。)
子どもにOKメッセージ	同僚にOKメッセージ
5つの質問して相手のエネルギーを上げたい	コーチングのあり方がいかに組織を活性化するか、もっともっとやっていきたいです。
家族にかける言葉や表情がSF的になりそうです。	大学の授業ですぐに!(火曜日から)
社員研修に応用したい	張さんの分科会。理念をSF
SFは「育てる」「すでに内にある」	組織に関わるプログラム企画策定に反映できること。
夢の実現化	
自分の組織・人材をグローイング[読めない]やり生かしたい。	
おぼに伝えたいことができた	
SF戦略を練るヒントを得た。	組織で活かそうです。(これまでの導入、実践に加え)
5つの質問 効果を実感した。自分にも他の人にも使ってみよう。	
①マイケル・ヤート氏の“初心”“The PLUS modelの説明”	
②マーク・マカーゴウ氏の“失敗しましょう”	
③青木安輝氏の“表レジュメ表紙の問いかけ”	
→それぞれの活用について	
①授業・講演の前提として受講者全員に“初心”としてSFがあると受け止められる。	
②「教室＝実験室だから実験は失敗していい。ここは本番ではないから」と伝える。	
③ポントキアアカレツジの表紙を質問に差し換えた。	
自分らしくかがやいていく	今の仕事をさらにパワフルに
自己開示をする。	
今後のSFを続けていく。モチベーションがUPLした。	SFを職場に取り入れる事は、間違いでない事は自分の中で明確になった。
セミナーで実践します!!	チーム一員としてもっと積極的に(出し惜しみせず)参加します。
明日からのモチベーションDoing→なりたい自分へのBeing	会議のやり方を変える(5つの質問)
スモールフューチャーパーフェクトをつなげた大きなフューチャーパーフェクトをつくり出すこと	SFを活かした組織づくり(小さなチームから)
コンサルティングにもっと取り入れ活用する	
これからの人とのかわりに	部下の育成
家庭、仕事での人間関係	後輩の指導
笑顔	会社のシステム

8

II. アンケートの結果

Q5) 今日手に入れた成果はどんなことに役立ちそうか その2(左:個人 右:組織)

これからの人生で苦しい時に使いたいです。	周りに広めていくことで笑顔の輪を広げることに役立ちそうです。
コーチング	チームビルディング
すべての対人関係に対して、 ・人を受入れることが始まり[読めない]を実践する。 ・SFを根本の考え方として消化する。	・人財育成の活動に対して、成功体験をつくる。良いところを見つけて、育てる。
	コーチングで使いたい
・スモールサクセス →一歩を踏み出すために	
SFの仲間、新たな人脈	SFの導入方法
小野さんのサイコロを研修で使う!!	会社としても、この考え方で研修を作る。
元気で自然な生き方	研修のヒントに
もう1回、SFと私のかかわりを見直す(ポジティブな意味で)	早期退職者のキャリアカウンセリングに明日から取り入れます。
個人の行動にも多くのヒントあり	多くのヒントが得られた
SFを知らない人たちにどうやって、仕事に取り入れていきたいか自然にできると思う。	ソリューションフォーカスの理解者を社内で3人増やすことができた。
相談へののり方	
研修内のモチベーションUP。	
自分自身の力の発揮のために。	
言葉を大切にす。発信する。	仲間(同じ気持ちの)を増やす。
すてきな未来に近づきそう!!	仕事・・・研修、組織作り
	モチベーション
子どもに早くといわない。共に経験する。(共に育つ、育児より育自)	他の人のためによりよいことを1日5つやる。いいな、うれしかったことは表現する。
今、実施していることをSF視点で見直してみる。	どうやってSF視点を職場という環境へ展開する方法を考える。まずはDVDを紹介する。
夢しか実現しない	
家族との会話に	部下育成
人の話に耳を傾けられそう。	活性化
転職活動が上手くいってなかったけれど、明日からSFを使って上手くいっている事に目を向けます。	次に行く組織でSFを使ってワクワクな組織作りに活かします。
元々もっている。	目標に向けての動機づけ。良い組織づくり。

9

II. アンケートの結果

Q5) 今日手に入れた成果はどんなことに役立ちそうか その3(左:個人 右:組織)

人にも自分にもやさしく	7月の研修に使いまーす。いろんな人、いろんな組織の人のSFのよさを話して、チームで広めよう。
あらためて、育むという概念と尊敬、敬意をもって個人に接していきます。	
個人へのSF応用。	商工会議所のSF的ミーティングの企画
感情とSFの関係。	
自分自身の成長とエネルギー	SFプロジェクトの推進
家族との対話	部下の指導
家庭での会話に	同僚、部下とのコミュニケーション
・明珠掌にあり、で人に関わる。	
・SFを生きる。	コーチング、研修で活用
相手への視点	組織で共有して見る点が明確になった
モチベーションが上がった。	会議の中で。
ありがとうの言葉	
企業研修の現場につかう	
自分のスキルアップ	もちろん、成果が上がる！！すみません抽象的で。
ものの見方、見え方を自分の気持ち次第で変えていけるので、意識し実践したい！スモールフューチャーパーフェクトの実践	
初心に戻って、あらたな一歩を踏み出したい。	
周囲の方々との関わりの中で	勉強会で
相手と仲良く	職場を明るく
家族とのコミュニケーション	コミュニケーション
SFの基礎:尊敬だとして知ったこと。SFは個人の内に元々あること。違っていてみんないい！	まず何ができていいのかからスタートする。
SFと知らなくてもすでにSFになっているというリソースがあり、これを文章にしていろいろなアレンジして使いたい。	早速、使って新しいワークシートを作ってしまった。来週から工夫してSF研修に活用するものを作ります。
生き方、生活。	個人の能力開発。
人生	部下育成
SF活用のダイエイトに挑戦したい！	職場に潜在している問題についてSF的アプローチをしたい。(ミーティング、会議、話し合い)
私は必ず幸せになる！と心からそう思い続けられる。	皆で益々心を開きあい、対話を重ねあいたい。
研修に取り入れます。	肯定が飛びかい、チーム力があげられそうです。有意義なミーティングができそう。
・自分に(自分が元気に)	
・個人を元気に	会議が価値あるものに。

10

II. アンケートの結果

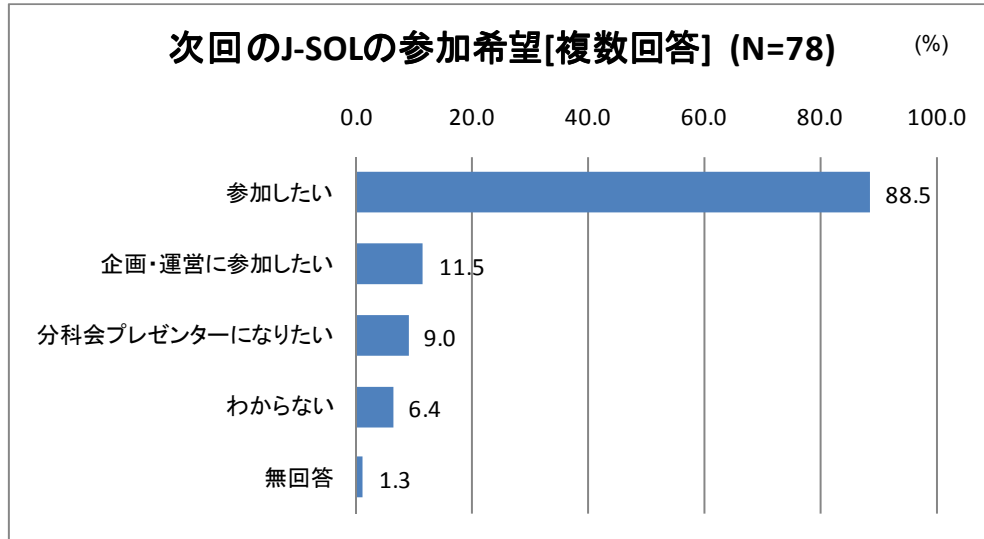
Q6) 次回のJ-SOLをよくするためにどんなことがあればいいか

自分がもう少しSFのことを知ることを前提として、分科会の時間がもう少しそれぞれあればいいと思いますが、むずかしいですね。	2日目の午前中の分科会の後のシェアがランチタイムと重なり一部の方としかシェアが出来なかったのが残念でした。思いつきません。お弁当の日、良かったです！
質問とは異なりますが、マイケル氏やマーク氏がおっしゃるように日本にSFの土壌があり広がる可能性を秘めているとしたら、世界へのスケールは60(日本1億人、世界60億人)。今1や[読めない]もう1上げ[読めない]60ぐらいいならなんとかなる。いつかその日がくると信じられました。	参加者一覧があると後からのフォロー(連絡とり)がやりやすいかな。発表者のメールアドレスなど公表してもらえないでしょうか？
もっと日本的であっていいと思います。尊敬は尊厳ではないか。初心は謙遜ではないか	ミラクルフューチャーで支援しあったことを発表しあう。
OKカードがすぐ目につくところにあり(ペンも)すぐ休み時間に書いてわたせるといいな！(もう少しタイムが長くあると書けますね)	グッズを使ってがあると、わかりやすく学べると思う。
七つの要素の体験コーナー	いくつかのセッションでは、まわりの方と話しあう機会を設けてもらいました。その情報交換は有効であり、よりたくさんとりいれた方が良いでしょう。
次回を実施してくださいナ	キャバレーの場所の選定
ワークショップの時間を長くして、後でパネラーの方と対話できる時間が有ったらうれしいです。	より多くの分科会の開催
・運営サイドだったため、Perfect!という感想で今は思い当たらない。	全員参加
・キャバレーの場所の食事のクオリティは上げたい。	参加者同士のシェアタイムを増やして欲しい。
J-SOLを続けていく事がなにより、意味があると感じます。	自分の実践経験
分科会の時間がもう少し長かったら・・・	参加型で行っている事がよいと思う。もっと時間が有れば良いと思う。
時間の余裕	シェアタイムを増やしてほしい。
分科会の1ページレジュメ(それぞれ)があると嬉しいです。	キャバレーで、外国人の方と一緒に楽しめるものを！！
もう少し時間に余裕を持たせる	どこか、おもしろい会場がないかなあ～。
もっと人数が増えると楽しいと思います。	初めての人も参加しやすく
・参加者名簿(差しさわりのなければ)の配布。	自分の実践したいです。
・「SFってこんなものだよ！」的な簡易解説書の配布。	スタッフのみなさんのおもてなしの心づかいが隔々に感じられて、あたたかくサポートされている気がします。この雰囲気があればOKだと思います。
・運営メンバーの自己紹介(ポスターの貼りだしなど)	とても良かったです。沢山のリソースがあったので、さらに。ワークスケーリングのワークをもう一度やってはどうでしょうか。
さらに多くの人を集めてほしい。	現在で充分
もっと参加者同士が、フリーに話したい。ランチをバイキングで2時間にして(費用をとって)ほしい。	自分のSF体験をもちたい。共有したい。
もっともっと実践事例を	少し1日の時間が長くて、16:30位に終わると疲れが少なくて良いな・・・と思いました。
・日本・アジア文化との融合	分科会、もっと聞きたい。
・企業でSFをうまく進めた事例	私の英語力、自由にシェアする時間、(休憩?)
この2つの話が聞きたい。&4人組のワークは良い。	

11

Ⅱ. アンケートの結果

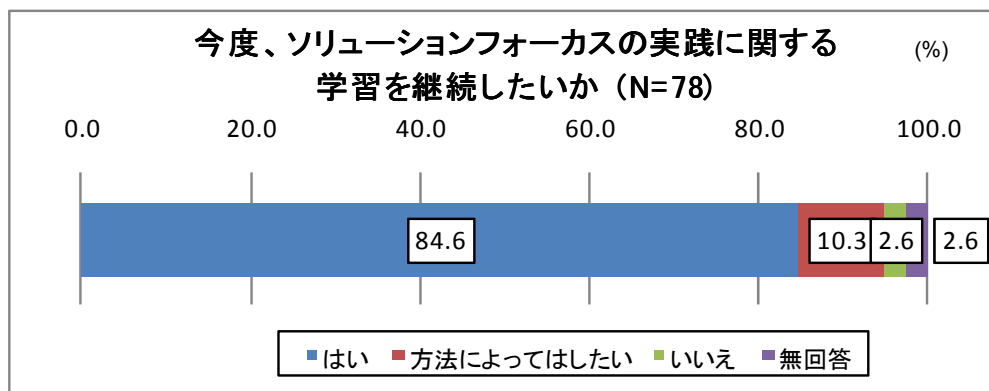
- Q7) 次回のJ-SOLの参加希望 [複数回答]



12

Ⅱ. アンケートの結果

- Q8) 今度、ソリューションフォーカスの実践に関する学習を継続したいか



13

Ⅱ. アンケートの結果

- Q9) Q8で「はい」または「方法によってはしたい」に回答された方へ
どのような方法でソリューションフォーカスの学習を続けたいか[複数回答]

